

## B-33 スカート裏地のスリット明きに関する研究(第1報)

### スリット明きについてのアンケート調査

比治山女短大〇枝広瑤子, 広島大教育 齊藤宏子・山田都一

目的 最近, スカート裏地にスリット明きを作ったものが多く見られるようになったが, このスリット明きは“留め”の部分でよく損傷するように思われる。そこで, 裏地を損傷することなく, 強い留めについて検討するために, まず, スカートの種類や表地・裏地の素材, 裏地のスリット明き部分の縫製条件, スリット部の損傷状態などについて, アンケート調査を行った。

方法 対象は広島市内・福山市内の3校の女子大学生215名, 調査期間は昭和52年4月上旬から5月上旬の約1ヶ月間, 回収率は92.4%, 調査スカート枚数は552枚である。

結果 ①スカートの種類は, フリーズスカートが一番多く, 次いでセミタイトスカート, タイトスカートである。②タイトスカート・セミタイトスカートの内では, そのほとんどにスリットやフリーズが作られており, その位置は前が多い。③表地の素材は毛100%が約1/2, ポリエステルの混紡が約1/4である。④裏地の素材は, レーヨンが約1/4, ナイロン・キュアラが約1/5づつである。⑤裏地を縫製している糸は, 絹糸が約1/3である。⑥裏地のスリット明きの位置は, 両横がほとんどである。⑦裏地のスリット明きの縫代は平均1.2cm, 針目ピッチ数は平均7.5目/2cm, スリット明きの長さは平均21cmである。⑧スリット明きの縫代の始末は, 三つ折りにしてミシンで押えたものがほとんどである。⑨スリットの明き止まりの始末は, 返し縫いがほとんどである。⑩スリット留めの種類は, ミシンで3度縫いしたものがほとんどである。⑪スリット部が何らかの損傷をしているものは約40%で, その損傷状態は, 縫糸のほつれているものが約40%である。